

## 第4期地球温暖化対策推進実行計画（事務事業編）令和4年度実績報告について

本市では地球温暖化対策に関して、以下の二つの実行計画により取り組んでいる。

地球温暖化対策推進実行計画（事務事業編）	市役所自らの事務事業における温室効果ガス排出量の削減等の措置に関する計画。市は策定義務付け。
地球温暖化対策実行計画（区域施策編）	市全体の温室効果ガス排出量の削減等の施策に関する計画。市は策定努力義務。

⇒地球温暖化対策推進実行計画（事務事業編）は市役所の事務事業から排出される温室効果ガスの削減に関する計画

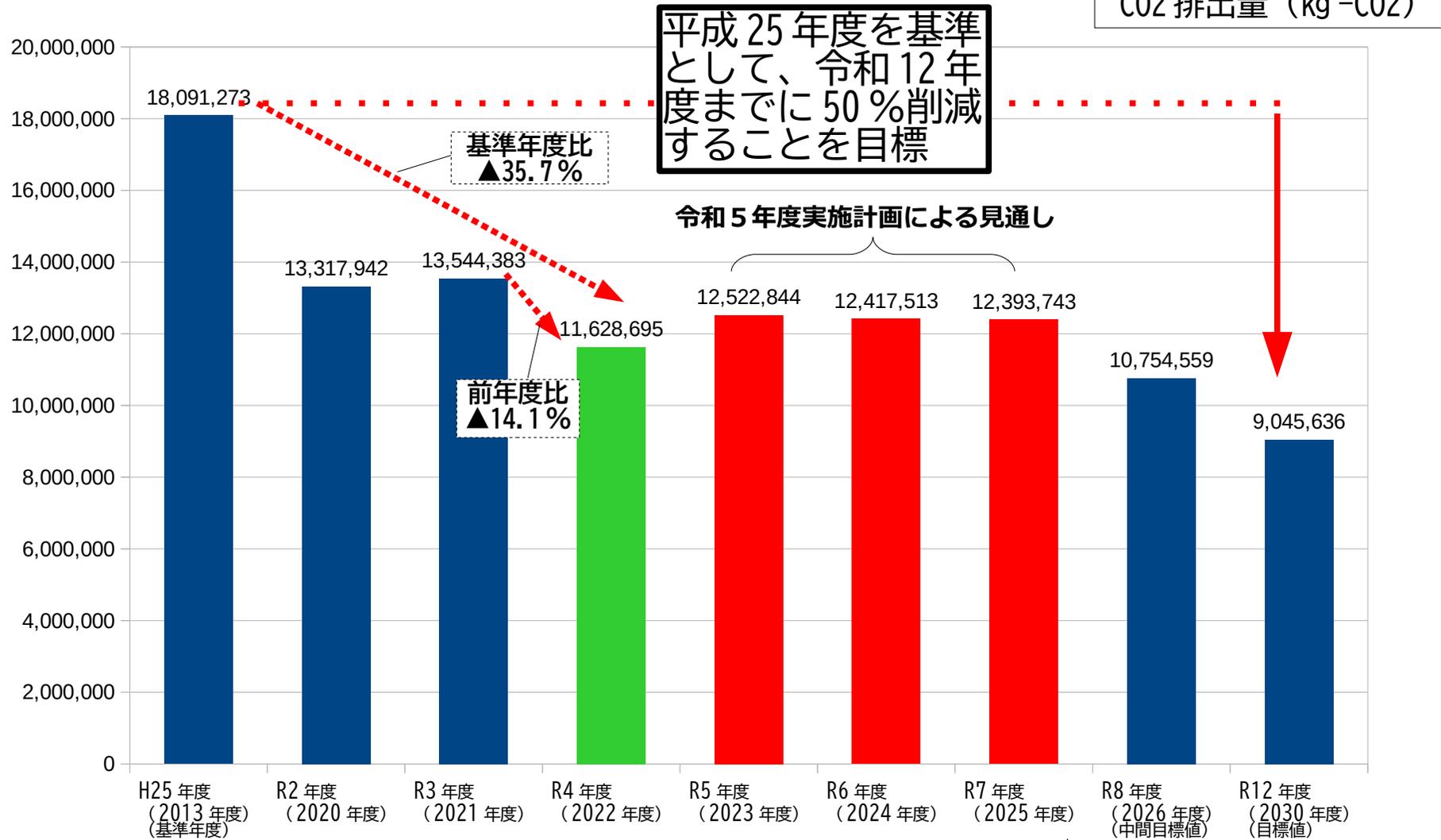
⇒第4期計画の内容は以下のとおり。

計画期間	令和3（2021）年度から令和12（2030）年度までの10年間
基準年度	平成26年（2013）年度
目標	令和12（2030）年度までに、平成25（2013）年度比で50%削減する。
対象ガス	二酸化炭素（CO <sub>2</sub> ）、メタン（CH <sub>4</sub> ）、一酸化二窒素（N <sub>2</sub> O）
重点的な取組	① 可能な限り電気エネルギーを用いる設備・車に転換すること ② より高効率な設備に転換し、省エネルギー化を図ること ③ 再生可能エネルギーの最大限の導入をすること

# 1 令和4年度の温室効果ガス排出量実績と評価等

## (1) 市の事務事業の温室効果ガスの排出量の推移

市役所の事務事業による温室効果ガスの排出量削減目標



## (2) 令和4年度の市の事務事業の温室効果ガス排出量の評価

- 令和4年度の市の施設や事務事業から排出された温室効果ガス排出量は11,628,695kg-CO<sub>2</sub>となり、**基準年度比で35.7%（昨年度比14.1%）削減**されました。
- これは、令和4年度実施計画の見通しであった11,976,158kg-CO<sub>2</sub>を下回っています。

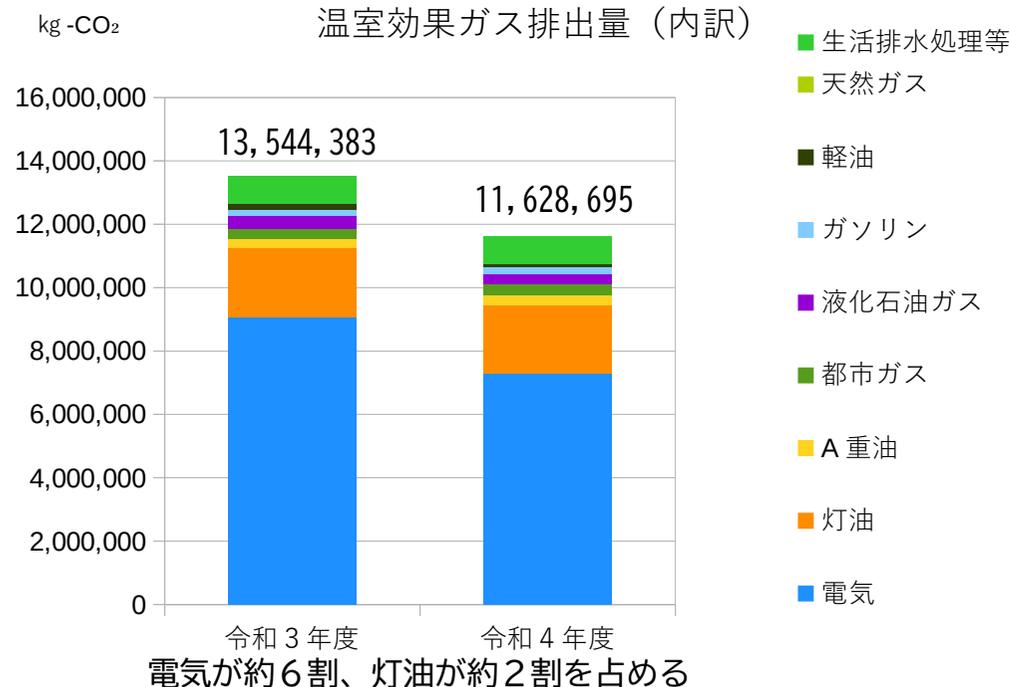
## (3) 令和4年度の市の事務事業のエネルギー種別ごとの温室効果ガスの排出量

第4期計画では、市の施設を下記のエネルギー種別毎に目標を設定し、取り組んでいる。

エネルギー等種別	主な使用内容
電気	空調や照明、コピー機等の事務機器、冷蔵庫など幅広く使用
灯油	一般的な暖房器具の燃料として使用
A重油	ボイラーの燃料として使用
都市ガス	空調設備の燃料として使用
液化石油ガス	一般的な暖房器具の燃料として使用
ガソリン	公用車に使用
軽油	公用車や発電機に使用
天然ガス	公用車に使用
生活排水処理等による一酸化二窒素、メタン	自動車の走行や生活排水処理の過程などで排出される温室効果ガス。

## エネルギー種別ごとの排出量

	項目	電気 (Kwh)	灯油 (ℓ)	A重油 (ℓ)	都市ガス (m <sup>3</sup> )	液化石油 ガス (m <sup>3</sup> )	ガソリン (ℓ)	軽油 (ℓ)	天然ガス (m <sup>3</sup> )	生活排水 処理等	合計
排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	R4	7,286,786	2,162,702	304,523	366,908	325,025	195,063	125,055	120	862,513	11,628,695
	R3	9,059,858	2,207,941	266,583	339,555	392,063	180,426	212,873	535	884,548	13,544,383
	R3年度増減 (R4-R3)	-1,773,072	-45,239	37,940	27,353	-67,038	14,637	-87,818	-415	-22,035	-1,915,688
	R3年度比	-19.6%	-2.0%	14.2%	8.1%	-17.1%	8.1%	-41.3%	-77.6%	-2.5%	-14.1%
	H25 (基準)	11,767,520	3,310,238	904,276	436,651	461,909	203,545	199,517	835	806,783	18,091,273
	基準比	-38.1%	-34.7%	-66.3%	-16.0%	-29.6%	-4.2%	-37.3%	-85.6%	6.9%	-35.7%



### 【R3年度との比較】

- ・電気や液化石油ガス、軽油や天然ガスの排出量が大きく減少
- ・A重油や都市ガス、ガソリンの排出量は微増

### 【基準年 (H25) との比較】

- ・生活排水処理等の排出量以外は、それぞれ減少しているが、都市ガスやガソリンの減少幅は小さい